

「災害時の備えを考えよう！災害食講座@小千谷市」で講師派遣

2月25日(日)小千谷市の「そなえ館」で小千谷市民を対象とした「災害時の備えを考えよう！災害食講座@小千谷」で講師(2名)とテーブルコーディネーター(4名)を派遣しました。

■概要

日時:令和6年2月25日(日)10:00~14:00

場所:おぢや震災ミュージアム「そなえ館」

参加:24名

■第一部「食のそなえ」～小千谷市が経験した地震を踏まえて～ 講師:別府 茂 顧問

災害時には1週間以上、水やガス、物流などが断絶する可能性がある」と指摘。コメや乾物、缶詰など普段から使用する食材は、食べたらずって補充する「ローリングストック」を行い、水やカセットコンロのガスボンバなども備えておくことが重要と解説。



■第二部「実食パッキング体験」講師:土田 直美 防災士

ポリ袋を使って大豆のトマトカレーと栄養バランスを考えたサラダを調理した。



食後には、「ぼうさい〇×マン」の防災クイズで盛り上がった

■第三部「防災士情報交換会」

小千谷市の防災士資格保持者が、自身の活動や今後の活動の理想について意見を出した。